



みんなで子育て

西濃県務所 振興防災課 振興防災係
家庭教育推進専門職 酒井
電話:0584-73-1111 <内線212>
E-mail: sakai-toshinori@pref.gifu.lg.jp

家庭教育についての
相談はこちらまで。
お待ちしております。



家庭教育応援通信
令和6年度バックナンバー

参観日を利用した家庭教育学級

海津市立石津認定こども園 親子講座 「親子ヨガ・親子運動」

令和7年6月3日(火) 10:00~12:00
石津認定こども園 遊戯室



保育参観時にふれあいの場と学びの場を

保育参観には、わが子の園での様子を知りたい保護者がたくさん参加されます。でも、仕事の関係で何度も参加できない方もいます。こうした保護者が参加する機会に、親子でふれあう場や子育てについて学ぶ場をつくることは、有意義なことだと思います。

今回、「子育て支援センターかいづ」で、私が親子ヨガと子育て講座を行っていたご縁で、石津認定こども園に呼んでいただきました。お子さんと一緒に呼吸法やヨガのポーズ、年中、年長さんたちには、体幹を鍛える運動を行いました。お母さんの膝の上に立つポーズなどでは、できる子が多くてびっくりしました。

また、保護者どうしが車座になってお話をする機会もありました。これだけの内容でも、2時間でした。コストパフォーマンスが高い家庭教育学級となりました。



両手を広げて、バランスをとって、飛行機のポーズ！



お山バランス！落ちないように立てるかな？

保育参観にあわせた「体験活動参加型」「講演会型」「子育てサロン型」



「一歩前進」

親子を2グループに分けて、親子ヨガ・親子運動と保育参観を交代で行いました。間に講演会を入れて、全保護者にお話を聞いていただける日程にしています。

	1～3歳児親子	4・5歳児親子
10:00~10:20	親子ヨガ・親子運動	保育参観
10:20~10:50	講話「親と子のかかわりの糸を結ぶ。」	
10:50~11:10	保育参観	親子ヨガ・親子運動
11:20~12:00	座談会	

聞くタイミング 傾聴
否定語を肯定語に
よい行動を見つけてほめる
具体的に伝える



子どもの言葉を目と心で聴き、否定的でなく肯定的に、あいまいな表現でなく具体的に伝えることが大切です。



家庭教育学級開講式のあとの保護者交流会では、気軽に話し合いができました。

大垣市立中川小学校 家庭教育学級

「いのちのはじまりと人との触れ合い」

令和7年6月13日(金) 9:30~10:15
中川小学校 体育館 3・4年生児童 希望保護者

助産師さんによるいのちの授業

「みんなはどこからやってきたの？」

「お母さんのおなかから！！」

「じゃあ、お母さんのおなかはどうやって入ったの？」

自分たちがお母さんから産まれた赤ちゃんだったことは知っているけれど、それ以前のことはお父さん、お母さんからも聞いたことがない子どもたち。

針の穴ほどの卵と精子が出会うまでの映像を通して、受精するまでの奇跡的な長い道のりを知りました。そして、自分も相手も大事にしたいプライベートゾーンの話の後、サプライズで妊婦さん登場。8月に予定日だと紹介されると、自然と会場の子どもたちから拍手が。

自分たちの始まりもこんなふうだったんだと感動した。人の命は大切にしないといけないと思った。



この拍手は、きっと、授業後にインタビューに答えてくれた子と同じように、命のすばらしさを感じたからでしょう。

3人の代表の子が赤ちゃんのいるおなかを触らせてもらいました。そして、マイクで赤ちゃんの「トクトクトク」という速い心音を聞き、おなかの中で生きているということを実感しました。



持続可能な家庭教育学級

◇フリー参観日を利用した「講演会型」

【保護者の感想まとめ】

- ・家庭では話しづらい命の話をわかりやすく学べ、子どもへの思いが深まった。感謝の気持ちでいっぱいです。
- ・受精の映像や赤ちゃんの心音など、子どもにとって貴重な体験ができた。自分を大切にしてほしいと感じた。
- ・明るく楽しい内容で命の大切さを伝えてくれた。中学年で聞けることに感謝。高学年でもぜひ続けてほしい。
- ・命の尊さを実感できる機会となり、性教育への向き合い方のヒントも得られてありがたかった。
- ・一人っ子では得られない貴重な体験ができ、子どもとの出会いが奇跡だと改めて感じた。



「一歩前進」

助産師さんは、親向けに時間をとってお話をされました。

- ・性教育に対する考え方をアップデートして、普段の生活の中で、さりげなく親として子どもに伝えていくこと。
- ・子どもにふいに質問されても「大切な事」は、「濁さない」「隠さない」「ごまかさない」ことが大事。
- ・正しい知識を伝え、正しい選択をできるようにしていくこと。



大垣市立星和中学校 家庭教育学級 給食試食会&栄養教諭講演会

令和7年6月19日(木) 12:00~14:00
被服室・調理室



人気の給食試食会で学びとつながりの場を

給食試食会は、星和中学校で毎年行われている人気の家庭教育学級です。コロナ禍後、大垣市で一番最初に再開したのが、星和中学校です。

参加者自身で配膳した給食をいただいた後、大垣市の栄養教諭さんから、南部給食センターで使用する道具と調理の動画を見せてもらいました。そして、国で決められている採取基準を満たした給食メニューを作成していることを教えてもらいました。

揚げ物の油は、交換すると何十万円もかかります。そのため、毎回、ろ過して使っているそうです。ちくわなど比較的油が汚れない食材から使い、サバのようににおいが残る食材は油を交換する前のメニューにする、油を吸ってしまう食材は、油の減る量を考えるなど、コストがかからないようにしていることを聞いたとき、その大変さに保護者の方からため息が漏れました。

繰り返される値上げに対応しながら、子どもたちの栄養と満足確保に努められ栄養教諭さんをはじめ、作っていただいている給食センターのスタッフの皆様へ感謝です。



定番として続けられている「体験活動参加型」 「講演会型」「子育てサロン型」

鹿児島に赴任されていた教頭先生から、鹿児島の給食の様子について紹介してもらいました。



鹿児島市の給食は、1皿少ないですが、1つの食卓にいろいろな食材がたくさん入っています。この給食は、鹿児島の郷土料理「鶏飯(けいはん)」です。ご飯に鶏のスープをかけて食べます。

今日の給食は、ミネストローネ、鮭のマヨネーズ焼き、フルーツのゼリーよせ、お茶食パン、牛乳でした。おいしかったです。ご馳走様でした。



「一歩前進」

- PTAの加入、非加入に関係なく、全保護者に案内を送付しました。非会員は実費を払います。次回も続けて家庭教育学級に参加したい方が数多くみえました。
- 事前に講師の方に聞きたいことを伝え、それに答えていただく時間を設けました。(子どもが好きなアジのフリッターの作り方、夜食に適した食べ物、プロテインの摂取量と食事の併用など)



講演会後は、それぞれのテーブルで会話が弾みました。

垂井町立宮代こども園 家庭教育学級 「絵本の読み聞かせ週間」

令和7年6月16日(月)~22日(日)
全国児・保護者

うちでのふれあいの時間

宮代こども園の家庭教育学級は、在宅での親子のふれあいをスタートします。昨年度は、わが子のよいところを見つけハグをする「よさみつけスキンシップ週間」。今年は、一緒に絵本を読み、お気に入りの絵本を見つける「絵本の読み聞かせ週間」。誉めてもらえてぎゅっとしてもらえる、お膝に座ってあったかみを感じながら本を読んでもらえる。どちらも、その子だけに使われる大事な時間。この取組で、子どもは、お家の人へ愛されている安心感をもち、絆を強めていくことでしよう。

「一歩前進」

- 働いているお家の方でも取り組みやすい在宅取組型を前半の家庭教育学級にしています。
- 家にある本や図書館で借りてきた本を読んでもらいます。近くの図書館に親子で出かけ、読んでもらいたい本を探すことは、親子の会話を増やします。



「ことばの天才」がおもしろかったです。くぐる、のぼる、なげるなどの動作のイラストを見て、○に当てはまることばを考えるページが楽しかったです。

(5歳児)

親子の時間を大切にする「在宅取組型」

うちの人が「楽しかった、おもしろかったところ」をインタビュー

「だるまさんが」が一番楽しそうにしました。最後の「にこっ」のところでは、指でほっぺを指しながら「にこっ」と言いながら、一緒に読むことができました。(2歳児)

「がたんごとんがたんごとん」「のせてくださーい」と一緒に声を出して読んだのしかった。(3歳児)

「おべんとうバス」のトマトちゃんがいいへんじだからおもしろかった!(4歳児)

親の声は、お腹の中に入っているの、子どもが安心感や親密感を感じます。一緒に読むことで、親子のコミュニケーションが深まります。



県作成家庭教育動画紹介のお願い

下記のように、園・学校だよりや家庭教育学級通信、PTA広報紙にコピーできるデータを別ファイルで送付します。掲載していただくとありがたいです。

<https://youtu.be/y5RFbbalmA4>

みんなで家庭教育

愛着

(約6分)



親子で幸せな
気持ちになるコツ

うちでもやってみよう!

岐阜県 県民生活課

輪之内町合同家庭教育学級

日 時：令和7年6月5日（木）
13：30～14：30

対 象：21名（内町職員14名）
テーマ：子どもとのかかわりの糸を結ぶ
講 師：西濃県事務所

家庭教育推進専門職

酒井 俊 亘

【主催者様の声】

保護者として、わが子話を傾聴し、わが子にどう伝えるかという大切なテーマがよかった。とても分かりやすい内容で、参加者の笑顔もみられた。

【アンケート結果】

本日の研修テーマと内容についてどう思いますか。			
たいへん良い	おおむね良い	あまり良くない	良くない
94%	6%	0%	0%
企業で家庭教育についての研修を実施することについてどう思いますか。			
必要である	どちらかという必要である	あまり必要はない	必要ない
53%	47%	0%	0%



【参加者の感想】

- 否定的な言葉を無意識に使っていたことに気づき、肯定的な言葉を意識したい。
- 言葉の伝え方で人間関係が変わることを実感した。
- 「言わなくても伝わる」は誤解であり、丁寧な言葉かけの大切さを再認識。
- 子どもへの接し方を見直し、叱るよりも共感や傾聴を意識したい。
- 忙しさの中で思いやりや優しい言葉を忘れがちだと反省。
- 家庭と職場での言葉づかいにギャップがあることに気づいた。
- 講話が心に響き、今後の子育てや人間関係に活かしたい。
- 子どもだけでなく、家族や他人との関係にも役立つ内容だった。
- より多くの人にこの講話を聞いてもらいたい。
- 言葉の力を再認識し、子どもの育ちに良い影響を与えていきたい。

ペアで役割をかえて、傾聴をする
ことのよさを実感していただき
ました。



「家庭教育を実践する日」

News Letter 令和7年4月号

●ご家庭で簡単に実践できる取組を毎月紹介しています。

岐阜県では、「家庭教育を実践する日」に合わせ、ご家庭で簡単に実践できる取組例を掲載した「ニュースレター」を毎月発行しています。

みんなで家庭教育（「話そう！語ろう！わが家の約束」運動）



<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/13009.html>



みんなで家庭教育（「話そう！語ろう！わが家の約束」運動）

「家庭教育を実践する日（家庭の日）」とは？

※サイトの一番下に「ニュースレター」のバックナンバーを掲載しています。

